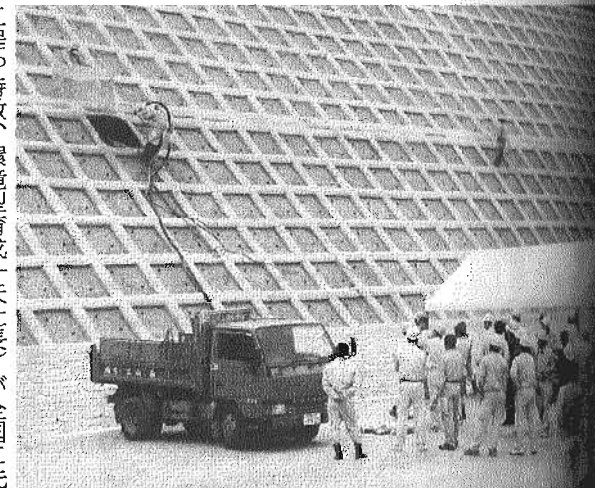


新技術・工法現場見学会

SGフレーム工法学ぶ



吹き付けの実演に見入る参加者らー鹿児島市の現場で

県斜面工法研究会(精富三丸会長)は25日、鹿児島市の武岡トンネル坑口の法面現場で「新技術・新工法現場見学会」が行われ、軽量法枠工(SGフレーム)の製造工程や特徴、環境型育成基盤材の製造工程、吹き付けの実演などに参加者らは関心を寄せていた。今回の見学会は鹿児島市発注でマルトミ工業(株)が施工している武岡トンネル道路築造(その7)の現場で実施。同現場はエコクリーン・森山(森山陸

夫社長)が全国に先駆けて設置許可を得たグラス・クリンコンポストシステム(刈り草や剪定木くずを破砕し、高速発酵処理し良質な有機質資材を提供)によって得た循環型リサイクル緑化基盤材を導入したことで注目を浴びていたことから官

見学会終了後、精会長は「同研究会も現在16社になるが、今後も新しい

県建築士会 県代表選考会

村岡氏(支部)に決定

県建築士会は25日、鹿児島市の公社ビル大会議室で、「実践活動発表」に係る県代表選考会を開



「実践活動発表」に係る県代表を決めた選考会＝鹿児島市の公社ビルで

代表に選ばれた。同選考会は、5月24日に佐賀県で開催される九州ブロック「建築士会」の九州大会で開かれる実践活動発表に係る九州ブロック代表者選考会に出場する県代表者を決定するもの。なお、九州ブロック代表に選ばれた場合、10月24日に宮崎市で開催される建築士全国大会に出場する。選考会では、二つのテーマが発表され、このうち「工務店の悩み」と題した村岡氏は、差し鴨居

木質材料の保存処理セミナー

今後の方向性学ぶ

コパース・アーチ社と岩崎産業は25日、鹿児島

市のいわさきホテルザビエル450で合同による木質材料の保存処理セミナーを開き、建設業者ら約50人が木材の保存、保存処理の現状と今後の方

と、他の建築部材より安全で信頼がおけるほか、低コストで処理を行える」ことなどを説明。作業工程においても、作業タンクから真空タンク、プレッシャーポンプに流れ木材の空気を抜き、圧力を加えて保存処理することなどを述べた。

コンパクト環境ISO

③

ISOシステムコンサルタント 久留 正成

私は、長く品質管理、環境管理に携わりISOについて10年前から、事業場への導入企画・構築及び運用を担当するとともに取引先の監査・支援を行ってきた。それら

トップの方針を浸透・展開させる

トップの品質・環境に対する思い・重点項目を方針に明確にし、従業員への浸透また各部門計画へ落とし込み、トップ方針のトレーサビリティを図る。

ISOの本質とKES

「コミュニケーションにより一致団結と透明性を高める」

社内での情報連絡・会議を充実し一体感を強化するとともに取引先・関係機関・地域などのコミュニケーションを円滑にして情報公開を進め事業者の透明性を高める。さらに内部監査や審査機能による評価により客観性を高める。

標準化により質の向上を進める

ルールやノウハウを標準化することによって業務の質の確保・ノウハウの共有化を促進し、教育・しつけを通じ従業員の

質の向上を進める。

リスク管理によりリスクを最小限におさえる

重大な品質・環境問題についての責任の所在、緊急処理方法、連絡方法監視・予防処置方法などを明確にしてリスクを最小限におさえる。

以上のようなマネジメントのしくみを構築し、継続的に改善することによって業務のプロセスや従業員の質を高め、もって品質や環境の結果を出そうというものである。得てしてシステムを構築することだけに目が行き、継続的に改善していくと

「ISO、必要」

「ISO、必要」感覚なら不要。京都が見出したISOの本質。日常の取り組みで費用上回る効果。中小企業に喜び」などと紹介されている。



保存処理の現状など学ぶ受講者ら＝鹿児島市のいわさきホテルザビエル450で

建設業の詳しい情報は...

無料体験実施中

<http://www.kc-news.co.jp>

業者格付・県市町村予算・発注予定工事等々情報は盛りだくさん

お問い合わせ: 099-222-6121